



平成22年4月26日

各 位

上場会社名 コニカミノルタホールディングス株式会社
 代表者 代表執行役社長 松崎 正年
 (コード番号 4902)
 問合せ先責任者 広報・ブランド推進部長 中村 清志
 (TEL 03-6250-2100)

平成22年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年10月23日に公表しました平成22年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	817,000	34,000	32,500	10,000	18.86
今回発表予想(B)	804,400	43,900	40,800	16,900	31.87
増減額(B-A)	△12,600	9,900	8,300	6,900	
増減率(%)	△1.5	29.1	25.5	69.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	947,843	56,260	45,403	15,179	28.62

修正の理由

当社グループの中核事業である情報機器事業では、足元の需要動向が回復傾向を示し始めた中、上半期に集中して投入したカラーMFP(デジタル複合機)新製品の販売が各国市場で堅調に推移しました。従来製品に比べて採算性が高い新製品の販売拡大による収益貢献に加え、販売部門を中心とした構造改革の加速や経費削減の取組みの徹底により、当事業の収益力が前回予想を大きく上回る見込みとなりました。オプト事業では、TACフィルム(液晶偏光板用保護フィルム)やガラス製ハードディスク基板の販売は想定以上に推移しましたが、BD(ブルーレイディスク)用光ピックアップレンズや光学モジュール関連が想定を下回り、事業全体としては売上、利益とも前回予想を下回る見込みとなりました。メディカル&グラフィック事業では、フィルム製品の需要減少に加え、デジタル入出力機器の販売が低調に推移し、売上、利益とも前回予想を下回る見込みとなりました。

このような状況から、情報機器事業における営業利益の押し上げによって、当社グループの営業利益以下、各利益項目が前回予想を上回る見込みとなったため、前回公表しました連結業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上

補足資料

(参考) セグメント別情報

(金額の単位：億円)	前回予想 (09/10/23)	今回予想 (10/4/26)	増減	
①売上高 予想				
情報機器事業	5,430	5,408	△22	△0%
オプト事業	1,420	1,367	△53	△4%
メディカル&グラフィック事業	1,100	1,043	△57	△5%
その他事業	145	144	△1	△1%
連結調整他	75	80	5	7%
合計	8,170	8,044	△126	△2%
②営業利益 予想				
情報機器事業	280	389	109	39%
オプト事業	150	143	△7	△5%
メディカル&グラフィック事業	35	14	△21	△60%
その他事業	5	10	5	100%
連結調整他	△130	△119	11	-
合計	340	439	99	29%